

系統空容量マップ (220kV以上)

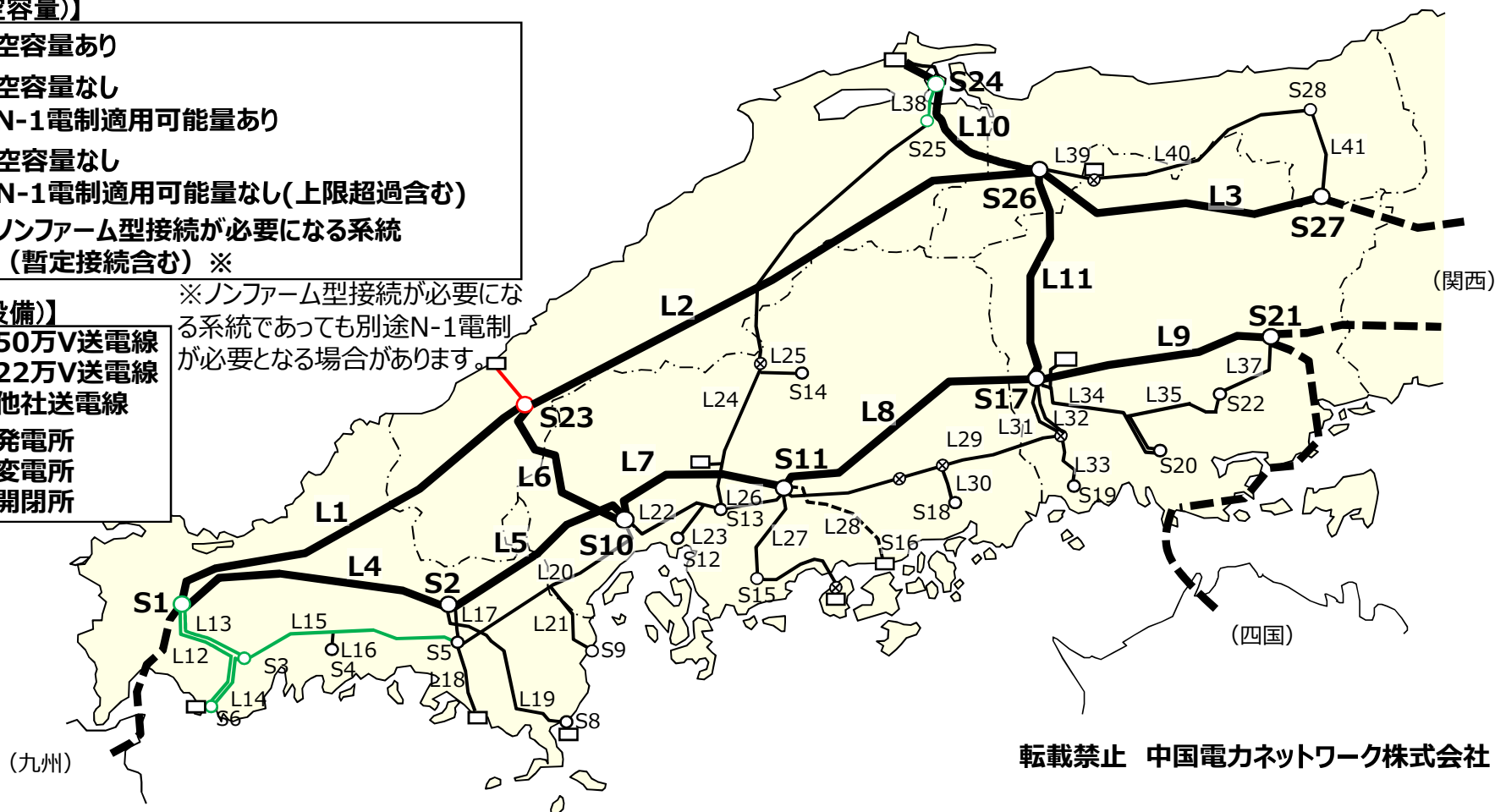
- 空容量は目安であり、連系可能容量の有無を保証するものではありません。系統接続の前には接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。このため、赤色（空容量なし）で表示している設備でも、接続検討の結果、ファームでの接続が可能となる場合があります。
- 申込み状況により空容量は変化するため、申込み時点において空容量が減少している可能性があります。
- 原則として熱容量を考慮した空容量を記載しておりますが、その他の要因（電圧や系統安定度など）で制約が発生する設備については、それを考慮した空容量を記載しております。
- 空容量が無いもしくは少ない箇所においても必要となる系統対策により系統連系が可能となります。系統連系に必要な事項は、接続検討をお申込み頂くことで、検討を行い回答いたします。
- 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても増強工事費の一部を負担いただくことがあります。

【凡例(空容量)】

- 空容量あり
- 空容量なし
- N-1電制適用可能量あり
- 空容量なし
- N-1電制適用可能量なし(上限超過含む)
- ノンファーム型接続が必要になる系統 (暫定接続含む) ※

【凡例(設備)】

- 50万V送電線
- 22万V送電線
- - - 他社送電線
- 発電所
- 変電所
- ⊗ 開閉所



【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
※1 1回線(バンク)故障時の電源抑制や系統切替を前提に時間を限定して使用できる設計上の熱容量を考慮
※2 ループ系統構成(電源線を含む)を考慮
- (2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
#1 基幹系ループ系統のため
- (5) N-1電制適用可能容量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能容量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能容量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開していません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能容量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (10) これ以外の留意事項については最終ページ下部をご確認ください。

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	備考
							当該設備	上位系等考慮			
-	Aフェンス(L1+L4+L15)	500	-	-	4020	電圧	950	950	不可 #1	-	
-	Bフェンス(L1+L5)	500	-	-	5000	電圧	1,091	1,091	不可 #1	-	
-	Cフェンス(L2+L7-L26)	500	-	-	4740	電圧	1,540	1,540	不可 #1	-	
-	Dフェンス(L2+L8)	500	-	-	5060	電圧	1,174	1,174	不可 #1	-	
L1	中国西幹線	500	2	6,580	-	熱容量	-	-	-	-	
L2	中国中幹線	500	2	9,872	-	熱容量	-	-	-	-	
L3	中国東幹線	500	2	6,580	-	熱容量	-	-	-	-	
L4	新山口幹線	500	2	6,580	-	熱容量	-	-	-	-	
L5	東山口幹線	500	2	6,580	-	熱容量	-	-	-	-	
L6	西島根幹線	500	2	9,872	-	熱容量	-	-	-	-	
L7	新西広島幹線	500	2	6,580	-	熱容量	-	-	-	-	
L8	新広島幹線	500	2	6,580	-	熱容量	-	-	-	-	
L9	新岡山幹線	500	2	6,580	-	熱容量	-	-	-	-	
L10	北松江幹線	500	2	6,580	3,290	熱容量	845	845	可	500	
L11	日野幹線	500	2	6,580	-	熱容量	-	-	-	-	
L12	新小野田火力連絡線	220	1	-	-	熱容量	-	-	-	-	
L13	新山口連絡線	220	1	-	-	熱容量	175	0	-	-	◇
L14	新小野田火力山口線	220	1	-	-	熱容量	-	-	-	-	
L15	山口幹線	220	2	612	487	熱容量	0	0	可	125	※2
L16	南山口支線	220	2	976	539	熱容量	515	100	可	437	※2
L17	東山口連絡線	220	2	1,954	1,051	熱容量	265	265	可	500	※2
L18	下松火力連絡線	220	2	-	-	熱容量	975	265	-	-	◇
L19	柳井火力連絡線	220	2	-	-	熱容量	130	130	-	-	◇
L20	新徳山幹線	220	2	612	380	熱容量	330	330	可	232	※2
L21	新岩国連絡線	220	2	612	380	熱容量	330	330	可	232	※2
L22	広島西幹線	220	2	612	352	熱容量	25	25	可	260	※2
L23	広島中央線	220	2	1,140	570	熱容量	665	665	可	500	
L24	山陰幹線	220	2	976	488	熱容量	210	65	可	488	
L25	作木支線	220	2	612	306	熱容量	30	30	可	306	
L26	新広島連絡線	220	2	1,954	1,142	熱容量	470	65	可	500	※2
L27	黒瀬幹線	220	2	2,470	1,306	熱容量	1045	115	可	500	※2
L28	新竹原火力線	220	2	-	-	熱容量	他社設備のため別途確認が必要		-	-	◇
L29	広島東幹線	220	2	1,446	852	熱容量	680	680	可	500	※2
L30	北尾道支線	220	2	1,446	852	熱容量	680	680	可	500	※2
L31	新岡山連絡線	220	2	1,954	1,493	熱容量	1,370	1,370	可	461	※2
L32	井原連絡線	220	2	1,954	1,462	熱容量	1,330	1,330	可	492	※2
L33	笠岡幹線	220	2	1,310	717	熱容量	585	585	可	500	※2
L34	新倉敷連絡線	220	2	1,954	1,265	熱容量	945	555	可	500	※2
L35	岡山幹線	220	2	612	517	熱容量	195	195	可	95	※1, 2
L37	東岡山連絡線	220	2	1,310	805	熱容量	495	495	可	500	※2
L38	松江連絡線	220	2	1,534	792	熱容量	780	0	可	500	※2
L39	俣野川線	220	2	-	-	熱容量	585	565	-	-	◇
L40	新鳥取線	220	2	-	-	熱容量	870	485	-	-	◇
L41	新鳥取連絡線	220	2	868	522	熱容量	275	275	可	346	※2

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮			
S1	新山口変電所	500	220	2	1,900	1,235	熱容量	180	0	可	500	※1
S2	東山口変電所	500	220	3	2,850	2,560	熱容量	755	755	可	290	※1
S3	山口変電所	220	110	3	855	733	熱容量	230	0	可	122	※1, 2
S4	南山口変電所	220	110	1	285	256	熱容量	235	100	可	29	※1, 2
S5	新徳山変電所	220	110	2	570	483	熱容量	95	95	可	87	※1, 2
S6	新小野田変電所	220	110	1	-	-	熱容量	160	0	-	-	◇
S8	柳井火力変電所	220	110	1	-	-	熱容量	230	130	-	-	◇
S9	新岩国変電所	220	110	2	570	408	熱容量	325	325	可	162	※1, 2
S10	新西広島変電所	500	220	2	1,900	1,360	熱容量	1,165	1,165	可	500	※1, 2
S10	新西広島変電所	220	110	3	855	769	熱容量	655	655	可	86	※1, 2
S11	新広島変電所	500	220	2	1,900	1,375	熱容量	535	115	可	500	※1, 2
S12	広島中央変電所	220	110	2	570	307	熱容量	405	405	可	263	※1
S13	広島変電所	220	110	4	1,140	1,026	熱容量	900	65	可	114	※1, 2
S14	作木変電所	220	110	3	570	456	熱容量	180	30	可	114	※1
S15	黒瀬変電所	220	110	3	855	684	熱容量	565	115	可	171	※1, 2
S16	新岡山変電所	220	110	2	-	-	熱容量	他社設備のため別途確認が必要		-	-	◇
S17	新岡山変電所	500	220	3	2,850	2,375	熱容量	1,910	1,665	可	475	※1, 2
S18	北尾道変電所	220	110	3	855	742	熱容量	570	570	可	113	※1, 2
S19	笠岡変電所	220	110	3	807	581	熱容量	465	465	可	226	※2
S20	新倉敷変電所	220	110	4	1,140	1,026	熱容量	880	555	可	114	※1, 2
S21	東岡山変電所	500	220	1	950	855	熱容量	625	625	可	95	※1, 2
S21	東岡山変電所	500	110	2	1,425	830	熱容量	275	275	可	500	※2
S22	岡山変電所	220	110	3	950	744	熱容量	435	435	可	206	※1, 2
S23	西島根変電所	500	220	2	1,900	1,330	熱容量	0	0	可	0	※1
S23	西島根変電所	220	110	2	475	278	熱容量	50	0	可	197	※1
S24	北松江変電所	500	220	2	1,900	950	熱容量	0	0	可	324	
S24	北松江変電所	220	110	2	380	277	熱容量	235	0	可	103	※2
S25	松江変電所	220	110	2	570	424	熱容量	410	0	可	146	※1, 2
S26	日野変電所	500	220	2	1,900	1,261	熱容量	480	480	可	500	※1, 2
S26	日野変電所	220	110	2	570	335	熱容量	215	215	可	235	※1
S27	智頭変電所	500	220	1	950	855	熱容量	610	610	可	95	※1, 2
S28	新鳥取変電所	220	110	3	712	568	熱容量	445	445	可	144	※1

【留意事項】

- ・フェンス箇所については、500kV系統をループ系統で運用しているため、ループ系統における2回線故障(ルート断)に伴う健全ルートへの潮流の回り込みを考慮したフェンス潮流で空容量を管理しています。
- ・フェンス箇所については、電圧や系統安定度による制約であり、発電機の条件等により空容量結果が異なり一律に公表することは難しいことから、運用容量から2020年8月ピーク断面の想定潮流値を引いた数値を示しています。(詳細は個別の接続検討の際に回答します)
- ・L3, L9については、電力広域的運営推進機関が公表している中国関西間連系線の空容量をご参照ください。
- ・L6, L11については、500kV系統はループ系統で運用しており、フェンス潮流に影響されるため、個別の接続検討の際に回答します。